

# 新病院整備事業市民説明会のご意見・質問概要

令和6年8月1日（金）午後7時開催

会場：宍粟防災センター

※ホームページの公表に際し当日の発言のままではなく表現や内容を整理・精査しています。また、当日お答えできなかった内容及び訂正箇所については、下線部にて記載しています。

## ◆建物の構造に関すること

### No. 1 【耐震構造について】

質問	能登半島でも地震があったが、建設予定地は山崎断層帯が位置している場所と聞いている。そのリスクがある中、なぜ免震構造から耐震構造へ変更されたのか。
回答	<p>地震はどこでどのように発生するかによって建物に及ぼす被害が変わり、不確定な要素が多くあります。様々な地震がある中で建築基準法の改正が行われてきており、新病院では、「災害時に拠点として機能すべき病院」と位置づけ、建築基準法上の基準と比べて1.5倍の強い建物になるため、耐震構造でも法的に十分地震に耐えうる安全な構造となっています。</p> <p>能登半島におきましても、半島の周りを囲むように四つの災害拠点病院があり、耐震構造の病院になっています。被害については、ライフラインの問題や医療機器の点検等で当初は時間を要しましたが、徐々に診療行為を開始され、特段問題なく動いています。</p> <p>このような状況なども考えた中で、建築基準法の1.5倍の強度を持った耐震構造の建物であれば医療機能をきっちり継続できるということで、設計事務所の見解も聞きながら、免震構造から耐震構造に変えたという経緯になります。</p>

## ◆水害対策に関すること

### No. 1 【盛土計画（地盤の嵩上げ）について】

質問	新病院建設地では、付近の県道の一部がよく冠水するなど、水害の危険性がある。過去には、大雨で通行止めになることもあった。現在は、県の事業で道路が冠水しないように整備しているが、国見の森から流れる滝川は、揖保川の増水により、逆流することも考えられる。当初計画で0.5mから3mの浸水想定があり、地上げを計画されていると聞いたが、想定外のゲリラ豪雨に備えて、もう少しプラスアルファで検討するべきではないのか。
回答	<p>ハザードマップは、1000年分の1の確率でおこる最大規模の降雨を想定しており、浸水の想定範囲を地域の皆さんに事前にお知らせし、避難等に役立てていただくために配布しているものです。また、県などが河川整備等を行う際には、「計画規模」の浸水想定を対象にしており、これは100年確率と呼ばれるものです。</p> <p>新病院建設地をこの100年確率規模で見ますと、0.5mから3m程度の浸水が想定されていますので、対策として、3mの嵩上げを計画しています。</p> <p><u>補足説明</u></p> <p><u>3mの嵩上げをする中で、万が一、1000年分の1の確率でおこる浸水があった場合においても、入院患者さんがおられる3階以上は浸水を避けられるように計画しています。</u></p>

### No. 2 【浸水想定について】

質問	新病院建設地の周辺道路が浸水した時の対策は、どのように考えられているのか。
回答	周囲道路が浸水している場合は、救急車等も通行できない状況となります。万が一、患者さんの搬送がある場合は、自衛隊等の要請の下、2階以上からのアプローチも可能な計画となっているため、2階以上で受け入れる計画としています。

◆その他

No. 1 【建設予定地について】

質問	市は、平成 31 年に現在の建設予定地を 6 億 6,000 万円で購入された。当時、なぜ今この土地を購入する必要があるのかという意見が議会で質問されたが、とにかく今の時期でないと買えないという程度の説明しかなかった。病院を建てる敷地なら、20,000 m <sup>2</sup> 程度あれば十分なのに、なぜ 40,000 m <sup>2</sup> 程度の大きな土地を購入されたのか。
回答	現病院の敷地面積は、15,000 m <sup>2</sup> 程度であります。新病院では、コスト抑制の観点から、平面駐車場を計画しており、現状の立体駐車場よりもかなりのスペースが必要になってきます。また、将来建替えの場合でも、新たな用地確保をすることなく対応できるといったことも踏まえ、40,000 m <sup>2</sup> 程度の敷地は決して余裕があるわけではなく、十分に有効活用しております。

No. 2 【建設予定地について】

質問	土地の購入時、議会から仲介者はだれかと質問があったが、答弁されていなかった。このような所から今回の事業について、不信感がある。
回答	用地購入に当たり、あくまで前所有者の方と交渉していく中、前所有者の方が代理人を立てられたということでご説明しました。費用面については、市で鑑定士を 2 名入れて協議し、前所有者の方と価格交渉をしたものです。

◆説明会当日に頂きましたご意見

山崎地区は関西でも有数の地震のメッカである。その活断層の上に病院を建てるということは、そのリスクを十分に考える必要があると思う。地震で被害が出たときに病院が運営できない、経営できないことは最悪の事態になる。
地震で建物が壊れなくても、中の設備が壊れることも十分考えられる。コスト面もあるが、必要などころにはしっかりとお金をかけるというのが基本だと思う。
病院の建替え計画については、平成 28 年度の市の総合計画、それから遡る 5 年計画、10 年計画にも何一つ載っていなかった。しかし、平成 31 年の議会で市長は市民のためになるからとこの土地を購入した。本来、病院というものは総合計画に載せて、十分考慮して進めるべきだと思う。